

## 授業紹介、先生紹介

### 保健体育の授業 担当:木曾 太賀 先生

11月17日(木)、研究授業を実施しました。

対象の授業は2年次生の体育で、担当は木曾太賀先生です。木曾先生は令和2年4月に東京都に新規採用され、現在は2年次生の担任をしています。また、ご自身の野球経験を生かして、葛飾総合に硬式野球部を立ち上げ、今年の夏の大会では公式戦初勝利をあげました。

この日の授業は2年次生のバスケットボールで、ディフェンスの存在を意識しながらシュートを決めることをメインテーマに、レイアップシュートや45度からのミドルシュート、1on1などに取り組ませていました。生徒たちは楽しみながら元気に参加していました。



<木曾先生にインタビュー>

Q 今回の授業で生徒たちに理解してほしいことは何ですか？

バスケットボールには、「オープンスキル（絶えず変化する状況の中で用いられるスキル）」の要素が多く、相手に対応しながらプレーしなければならないということです。これまではディフェンスをつけずにレイアップシュートや45度からのミドルシュートの練習をしてきました。いわゆる「クローズドスキル（安定した環境の中で用いられる技術）」です。試合の中では常にディフェンスと対峙し、ゴールを目指します。ディフェンスをつけた実戦形式の練習をし、実際の試合で生かせるようにしてほしいと思っています。

Q 日頃の授業で大切にしていることは何ですか？

第一に、生徒の安全を確保することです。実技を行う上で危険な環境ではないかを毎授業確認し、準備体操・補強運動を念入りに行っています。その上で、生徒に楽しくスポーツをしてもらいたいと思っています。

そして、生徒とたくさん対話することです。生徒が授業の中でどんなことを考えているのか等を共有し、生徒の「主体性」が発揮できるよう心がけています。

Q 葛総生に一言お願いします

勉強、部活、学校行事等、さまざまなことに積極的に、そして貪欲にチャレンジしてください。やってみて「ダメだ」とわかったことと、はじめから「ダメだ」と決めつけてやらなかったことでは得るものが違います。3年間の高校生活はあっという間に終わります。あとで「あれをやっておけばよかった」と後悔しないように、「今」を一生懸命生きてください。そして、クラスや部活の皆と共に日々切磋琢磨し、互いを高めていけるようなかけがえのない仲間を葛総で見つけてください。

今年7月、夏の東東京大会3回戦、試合前のノックをする木曾先生

